

～ふるさとの魅力とあなたの笑顔が輝く情報誌～

# 広報 田野畑

Tanoha Village Junior High School

# 4

April.2024  
広報たのはた No.685



君といた  
全てのキセキにありがとう—

今月の表紙  
3月13日、田野畑中卒業式。卒業生34人  
が学びやを巣立ち、それぞれの道への一  
歩を踏み出しました(関連記事は2・3ページ)。

田野畑小(19日・卒業生29人)



# 思い出を抱きしめて 光の照らす明日へー

田野畑中(佐々木敏之校長、生徒74人)と田野畑小(山下かずゆき校長、児童126人)の卒業式、たのはたこども園(中里さち子園長、園児53人)の卒園式がそれぞれ行われました。

3月、巣立ちの時―  
希望と不安を胸に、学びの門をたたいたあの日から  
あっという間に月日は流れた  
運動会、体育祭、中総体、お遊戯会、学習発表会、文化祭―  
さまざまな行事に全力で向き合い、取り組んだ日々  
目標に向かい、勉強に励んだ日々  
時には涙を流した日もあった  
でも、仲間と過ごしたその季節は  
振り返れば懐かしく、そして、楽しい思い出だ  
君たちは、家族、地域の皆さん、先生たちに支えられてきた  
そして、仲間とともに大きく成長した



卒業―  
泣かないと決めていた  
でも、涙が、そしてさみしさがあふれた  
昨日までの日々が愛おしく思えた  
でも、今日この日は決して別れではない  
きっと新たな出会いとの始まりだから  
さあ、思い出をそっと抱きしめて  
新しいノートの真っ白なページを自分色に染めていこう  
光は君たちの進む明日をずっと照らしている―  
卒業、卒園おめでとう

たのはたこども園(23日・卒園児19人)

## 君といた 全てのキセキに ありがとうー



田野畑中(13日・卒業生34人)



Congratulations on your graduation!

もうすぐ1年生!

夢に向かって羽ばたけ!

輝く19の翼



小松山 音乃楓ちゃん (園)

あめがき



小長根 美玲ちゃん (園)

おはなばし



佐々木 楓音くん (園)

しみず



下田 絵恋ちゃん (園)

ほしざき



大木 碧悠ちゃん (園)

けいさき



中村 翔斗くん (園)

しょうばし



工藤 怜恩くん (園)

けいさき

たのはたこども園を卒園し、この春、小学校へ入学する新1年生は19人。これから始まる小学校生活。希望に満ちあふれ、入学を心待ちにしているみんなに将来の夢を書いてもらいました。「おおきくなったらなにになりたい?」



富山 椋利くん (園)

かさゆき



佐藤 紬ちゃん (園)

あみせやき



富山 璃夢ちゃん (園)

がっこう



佐藤 杏ちゃん (園)

いぬのびよ



熊谷 匡くん (園)

プロストラ



三浦 和奏ちゃん (園)

けいさき



富山 新大くん (園)

やきやき



嘉藤 光くん (園)

おかひもち



三浦 來多美ちゃん (園)

りょうじ



早野 成惺くん (園)

けいさき



富成 伸一くん (園)

さかかか



奥地 穂乃佳ちゃん (園)

けいさき

# 心をひとつに 確実に前進

令和6年第2回村議会定例会が2月27日に開会しました。村づくりの方向性や新年度の主要事業など、佐々木靖村長が行った施政方針の内容をお伝えします。

## はじめに

本日ここに、令和6年第2回田野畑村議会定例会が開催され、令和6年度当初予算案や村政の重要案件をご審議いただくにあたり、村政運営に取り組み施策について所信の一端を申し述べ、議員各位をはじめ村民の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

まず、令和6年能登半島地震により犠牲となられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。被災地では懸命な復旧作業が行われており、一日も早い復旧復興を願ってやみません。本村も、東日本大震災での甚大な被害による心の傷が癒えることはありませんが、被

災地としての経験から、県や県内市町村と連携して、早期の復旧に向けた必要な支援を行うとともに、復興に向けて現地に寄り添った支援を末長く続けていく所存です。

さて、全国的な問題である人口減少については、国立社会保障・人口問題研究所が令和5年12月に公表した人口推計で、本村の2050年人口が1388人で対2020年比54・6%減と大変ショックな数字となりました。少子高齢化による急激な人口減少は、税収の減少や経済の縮小などにより生活基盤の維持が困難になる恐れもあることから、県や他自治体などと連携して有効策を探りながら、少子化・子育て支援対策などを講じます。また、昨年度、金地金でいただいた



# むらづくり 施策の方向

令和6年度の村政運営は、総合計画のむらづくりの重点施策を軸に、持続可能なむらづくりの6つの構造的領域ごとに設定した将来像の実現に向け、むらづくりの体系と主要指標に沿った各種施策を中心に展開します。

## 1 環境

### 豊かな自然と共生し暮らしに安らぎのある村

地球温暖化、海洋汚染、森林破壊など、環境問題は私たちの生活にさまざまな悪影響を及ぼす可能性が指摘されており、世界共通の課題として取り組む必要があります。温室効果ガスの排出量を減らすなどの環境保全に取り組み、次世代に継承できる持続可能な社会を目指します。国では「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」を宣言し、脱炭素化に向けた取り組みを進めています。

本村においても、令和6年2月に「田野畑村地球温暖化対策実行計画」を策定しました。計画に掲げる「省エネルギー対策の推進」や「再生可能エネルギーの導入推進」などの取り組みを、村民や事業者の皆さまの地球温暖化対策への理解を深めながら、本村の豊かな自然環境や安全・安心な生活環境を守り、次世代へと引き継いでいきます。

上下水道は、生活や産業活動に欠かせないライフラインの一つです。村は、経営状況の明確化と適正な財産管理を図ることを目的として、令和6年度から公営企業会計に移行することとしています。経営基盤の強化や財政マネジメントの向上に努め、経営・資産の状況を正確に把握しながら、将来にわたって持続可能な経営を実現できるよう、引き続き安定した水の供給と公共水域の保全による生活環境の向上に努めます。

思惟大橋コミュニティ公園は、村内外から多くの家族連れなどが利用しています。しかし、遊具の老朽化が進み、安全性の確保などが懸念されることから、リニューアルを検討し、利用者に安全で利用しやすい空間を提供できるように努めます。

## 2 生活



思惟大橋コミュニティ公園のリニューアルを検討します

### 安全で生き生きとした生活が営まれ、人々が集い笑顔あふれる村

人口減少が進行していく中、定住促進にはさまざまな対策が必要であり、大きな柱として、子どもから高齢者まで、心身ともに健やかに生活できるように、それぞれの立場に立った支援が求められており、引き続き時代のニーズに合った対策を検討します。

### 金地金（5億2,824万円）の活用方針

活用項目	主な活用内容
産業を育てる	▶1次産業の振興▶ふるさと納税と特産品開発▶産業施設の充実—
未来に「田野畑村」をつなげる	▶就学奨学金の充実▶教育施設の充実▶庁舎建設・自治体DXの充実—
関係人口を増やす	▶定住者受け入れの推進▶友好都市や大学との交流—
笑顔と安心を増やす	▶公共交通の充実▶消防防災の充実▶自治会の充実—
イメージアップ、文化振興、PRの充実	▶PR・イベント開催▶郷土芸能や郷土料理の保存・伝承—

5億2824万円の寄付については、村が持続的に発展するための貴重な浄財として「ふるさと基金」に積み立て、総合計画のむらづくり重点施策の実現に向け、今後の活用方針を定めたところです。このような中、令和6年度の当初予算編成では、総合計画に沿った各種施策を展開し、計画の基本理念である「参加・協働・創造」による持続可能なむらづくりを力強く推進します。

子育て支援対策としては、妊娠前から子育て期まで切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」において、ワンストップ相談窓口による、出産前後の母子への心身サポートを図ります。令和5年4月に開園した「たのはたこども園」も順調に運営しており、次世代を担う子どもたちの健やかな成長を促しています。

また、子育て世代への経済的な支援策として、エンゼル祝い金の支給や育英奨学金貸付、義務教育入学および卒業祝金支給などの事業を継続します。



子どもたちの健やかな成長を支えます

### 3 学習

■ふるさとに愛着を抱き、人間性豊かな人材の育成

児童生徒は、地域社会の活動の中で社会性を学ぶことから、地域社会の環境や教育力の充実が一層重要性を増しています。その中でも、学校教育はもちろん、スポーツ活動や芸術・文化、生涯学習など教育活動全般が健全育成に大きな役割を果たしています。

学校教育では、授業や部活動での熱中症対策として、中学校体育館に空調設備を設置し、生徒の健康と快適な学習環境の向上に努めます。

小中学校の特別支援教育支援員に加え、新たに不登校児童生徒支援員を配置するほか、中学校には、部活動指導員の配置



教育活動の充実を図ります

福祉対策の新規事業としては、これまで必要性の検討を重ねてきた2つの助成事業を実施します。一つ目は、18歳以上で一定要件を満たす人の補聴器購入に対する助成、二つ目は、50歳以上の人が带状疱疹ワクチンを接種する場合に助成を行います。

高齢者福祉対策は、住み慣れた地域で安心して生活していただけるよう、「地域包括支援センター」において、保健事業との一体的な施策の展開により、支援を行います。

直営診療体制については、絶対に無医村にはならないとの強い思いで、診療所の医師の招聘活動を行ってきた結果、令和6年4月から新しい医師が赴任することになりました。後任が見つかるまではと、診療を続けていただいた現医師に感謝と敬意を表するとともに、村民の皆さまには、これまでと同様に切れ目なく安心して受診できる診療体制を確保します。

消防・防災については、消防団活動の活性化による地域防災力の向上を図るため、担当区域無火災1年や勤続優秀団員輩出、消防屯所・消防車両維持管理など、村民の生命と財産を守る消防団の活動に補助金を交付します。また、尾肝要地内に消火栓1基を整備し、防災機能の強化

を継続し、教育活動の充実とともに、教職員の多忙化の解消を図ります。

田野畑村総合教育会議は、あらゆる課題に対応するため、教育委員会や小中学校との連携を図りながら、地域教育の課題やあるべき姿を共有し、本村教育の振興を図ります。

奨学金制度については、貸付上限額、償還免除要件の見直しなどを行い、利便性の向上を図ります。

また、若者の村内定住・移住を促進するため、奨学金返還などの負担軽減を図ることを目的に、一定の条件の中で村内定住者の奨学金の返還を償還完了まで支援を行います。

### 4 産業

■産業間連携とイノベーションにより地域資源が創造的に活用される、循環型・共生型の働き続けられる村

村の基幹産業は農業・漁業をはじめとする1次産業です。村の発展の歴史から見ても、1次産業の発展なくして村の発展はありません。しかし、地球温暖化による気候変動や社会情勢に起因する物価



地域防災力の向上、防災機能の強化を図ります

を図ります。

住居環境の充実では、木造住宅耐震補強工事やトイレ水洗化への補助を継続するとともに、住宅建築物省エネ改修補助金を新たに加え、省エネで快適な住宅改修の支援を行います。特に木造住宅の耐震補強の重要性は、能登半島地震の被害を見ると誰もが認めるところだと思えますが、改修費用の面でなかなか取り組めない状況にあると思います。今後ともニーズの把握に努めながら、補助制度の活用を促していきたいと考えています。

高騰と生産物価格の不安定性、後継者・担い手の確保などのさまざまな課題を抱えているのが現状です。商工業や観光業においても同様であり、産業全体においてこれらの課題を乗り越える打開策の検討が急がれています。

今後、1次産業の担い手の確保や育成、経営の強化、高付加価値化に向けた具体的な取り組みへの集中支援を継続するとともに、各産業分野における収益向上と雇用機会の創出を図ります。

#### ●農業

農業にあつては、高齢化に伴って園芸農家が減少の一途をたどっており、農協への出荷者に限らず、道の駅産直の品ぞろえも将来的に危惧されています。このことから農作物を出荷する農家の種苗や包装資材購入費に対して一部を補助し、生産農家の維持・拡大に向けて取り組みます。

また、資材高騰や子牛価格の低迷で苦しい経営が続く畜産農家に対しては、引き続き草地更新や飼料用作物の新規作付けへの一部補助を継続し、自給飼料の安定生産を支援します。

老朽化が進む村営長嶺牧野の畜舎については、昨今の社会情勢と村内における畜産業の将来を見据えて新築を見送りとしたこと、現畜舎の耐震調査などを行い、長期利用に向けた改修工事の計画をまとめます。

●林業

林業にあつては、ナラ枯れ被害木をはじめとする枯死木の除去が喫緊の課題となっております。生命や家屋、生活などに被害が及ぶ恐れがあるものについては県と情報を共有し、除去作業を進めます。

林業就労者の高齢化や減少が著しい状況に加えて、労働安全衛生規則を徹底するため、防護服や安全靴など安全装備品の購入に係る経済的負担が増えていることから、経費の一部を助成し、林業従事者の労働環境改善と新規就業者の確保に向けて支援します。

また、森林環境譲与税を活用して、意欲と能力のある経営体が施業する国県事業に対してかさ上げ補助を行い、村内民有林の整備を推進します。

昨年は、ツキノワグマの出没や被害に関するニュースが連日のように報道されました。本村においても例外ではなく、民家周辺での出没や里山での果樹被害が多く報告されました。被害を未然に防ぐためには、クマを寄せ付けない対策が必須であることから、電気柵設置補助を行います。

有害鳥獣の駆除に当たっては、狩猟免許を有する実施隊の方々にご尽力いただいているところではありますが、隊員の

●商工業

商工業は、田野畑村商工会と連携し村内経済と経営安定化を図りながら、中小企業運転資金融資や新規起業、事業拡大などへの支援を継続します。課題とされた事業継承については、要件緩和により補助金を活用しやすくすることで、廃業せずに事業を継続できるよう支援します。

●観光

観光の推進については、昨年、三陸ジオパークが日本ジオパークに再認定され



体験型観光の充実により交流人口拡大を図ります

高齢化や人員不足が課題となっております。村鳥獣被害防止対策協議会への補助金を増額し、その活動の中で狩猟免許取得経費や新規の猟銃購入および保管に係る経費の一部に対して補助するなど、隊員確保に努めます。

●漁業

漁業にあつては、地球温暖化に伴い主要魚種などの水揚げの低迷が続いており、漁業者をはじめ漁協経営にも将来への不安が募る一方です。特に秋サケは、平



1次産業の担い手の確保などへの支援を継続します

らという明るいニュースがありました。さらには、ニューヨーク・タイムズ紙が2023年に行くべき場所として盛岡市を選出、また、先日の報道では、ロンドン・タイムズ紙による日本で訪れるべき場所14選にみちのく潮風トレイルが取り上げられ、その中で上級者向けのルートとして本村が紹介されるなど、岩手県沿岸地域が国内外から注目を集めています。これらを契機として、6月に全線開通5周年を迎えるみちのく潮風トレイルのウォーキングイベントの開催、観光コンテナツのブラッシュアップ、外国人観光客や教育旅行の誘致などに積極的に取り組み、体験型観光の充実により交流人口の拡大を図る観光の村を目指します。

●道の駅たのはた

地域振興の核である、道の駅たのはた「思惟の風」は、リニューアルオープンから4月で3周年を迎えます。産業まつりなどのイベントを開催することで、利用者増加によるにぎわいと村産品の消費拡大を図りながら、さらなる運営強化に取り組みます。

たのはた産品の地域ブランド化推進にあつては、引き続き商品加工の充実とさらなる高付加価値化に取り組み、特にこれまでで完成した商品のPRに力を入れ、民間事業者と連携した販路拡大のため、販売戦略を立てた上で営業活動や物産販売に取り組みます。

成30年度の約433トンをピークに年々水揚げ量が減少し、令和5年度はわずか4ト余りとピーク時の1%にも満たない過去最低の水揚げとなっております。取る漁業から育てる漁業への転換を強力に模索する時期が到来していると感じています。

令和3年度から県の地域経営推進費を活用して取り組んできた藻場再生プロジェクトの成果を引き継ぐため、新年度もアワビとナマコの放流支援を継続します。併せて陸上でのウニの蓄養試験を実施し、ウニの飼育方法や漁期外出荷に係る課題の解決策を検討します。

田野畑産ワカメのブランド化については、一次作業場の整備方針を再検討するため養殖漁業振興調査を行ってきました。その中で、ワカメ養殖業における振興方針は、第一に田野畑村の強みである品質を最大限生かすこと。第二に生産量の少なさを逆手に取り、田野畑産ワカメの希少性と品質の良さを評価する販売先を開拓することが重要であるとの結論に至りました。

このことから、ワカメ養殖漁業者への経営支援や後継者・新規参入者の確保対策などを具体的に検討します。また、生産量の拡大と品質保持に注力した商品化に取り組みながら、田野畑産ワカメの存在価値を高めたいと考えています。

5

交流

■多様な交流を大切に、心ふれあう村

地域課題の解決や地域づくりは、地域住民が主体となって取り組むことが求められています。個人でできることは個人が解決する自助、個人でできないことは家庭や地域が支える互助・共助、地域ができないことは行政がサポートする公助といった相互間の連携が必要不可欠です。住民自治活動の推進を支援するため、「地域づくり交付金」や「協働の村づくり推進事業費補助金」による支援を継続します。また、地域課題の解決や地域と行政の情報交換が円滑に行われるよう、地域協働隊職員制度や地区懇談会などの効果的な運用を図ります。

在京田野畑村ふるさと会は、本年度から事務局を役場が担い、情報交換など連携を強化することで村出身者のUターンにつなげられるよう活動を支援しています。また、友好都市や都市住民との交流事業として、埼玉県深谷市や青森県藤崎町との交流促進を図るとともに、早稲田大学との地域連携ワークショップ事業において地域課題の解決に取り組み、交流人口の拡大による移住定住の促進にも努



友好都市などとの交流促進を図ります

めます。

地域おこし協力隊制度は、地域力の維持・強化と地域活性化に重要な役割を果たすことから、村外の人材を積極的に受け入れます。また、移住定住には住環境の確保などの支援が欠かせません。移住支援情報の発信など積極的なPR活動を行います。

令和5年10月に九戸村、野田村、普代村、本村の県内4つの村で構成する四村サミット宣言を行いました。小規模自治

陸鉄道は、記念式典や写真展の開催を予定しており、沿線自治体と連携を図りながら、住民のさらなるマイレール意識の醸成と地元利用の底上げを図ります。本村においても、通院、通学などに欠かすことのできない重要な交通手段であることから、「マイレールさんてつ」を合言葉に利用促進を図ります。

自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）は、デジタル技術を活用した行政サービスの効率化と住民サービスの向上を図る取り組みです。本村においては、LINEを活用した行政サービス情報の配信や、住民からの通報・問い合わせ対応など、迅速かつ効果的な双方向コミュニケーションを構築します。今後においては、費用対効果の面からも小規模自治体に合ったサービスの在り方、DXの推進を検討します。

むすびこ

以上、令和6年度の所信および施策の一端を申し述べました。これらに要する予算総額は、一般会計35億5千万円余り、特別会計および公営企業会計を含めた全会計では53億8千万円余りとなりました。対前年比、一般会計で5.4%、全会計では8.2%の増加となりました。

令和6年度の予算編成に当たっては、昨年度と同様に人口減少や少子高齢化、災害復興事業の完了などの影響により税

体が抱える課題解決や豊かな自然資源を生かした魅力の情報発信など、四村が連携して発展の可能性を探ります。

新役場庁舎の建設については、新庁舎建設検討委員会にて検討を進めています。検討委員会の協議内容については、村民懇談会などの機会を捉えて情報提供を行い、村民の理解を深めるとともに、村議会庁舎建設特別委員会の意見もいただきながら、丁寧に進めます。



新庁舎建設に向けた検討を進めます

収の減少が見込まれる中、限られた財源を有効に活用するため、継続事業の精査や縮減に取り組むとともに、経常経費の見直しを図りました。

昨年もしましたが、過去の大型投資事業に伴う起債の償還、いわゆる借金の返済額が令和6年度から13年度まで高止まりが続くことから、持続可能な行財政運営のため「財政健全化」を旨とした予算編成を心掛けてきました。令和4年度、5年度の予算は、対前年度マイナスシーリングとして編成したことなどから、中長期財政見通しの単年度財政赤字は、当面先送りできる見通しとなりました。

一方、国内外に目を向けますと、DXやGX（グリーン）トランスフォーメーション）、SDGsなど、時代が求める新たな施策にも取り組むことが求められています。

このような村政を取り巻く諸課題のうち、人口減少対策を進めていく上でも重要であり、一体的・重点的に進めていくことで効果を上げられることが見込まれる、地域おこし協力隊制度を活用した移住・定住の推進、ふるさと納税の拡大、道の駅の機能強化、産業開発公社の経営・働き方改革などのプロジェクトを取り扱わせるため、企画観光課内に特定政策推進室を置き、トップダウン的な手法も取り入れながら施策を推進していきたいと考えています。

6 交通・情報基盤

■誰もが容易に移動や情報を得られるよう、連携・基盤の充実と機能発揮人材の育成

日常生活に密着する道路の重要性については、能登半島地震の現状を見れば誰もが認めることだと思います。国県管理分との連携を図るとともに、村道管理については、補助金などを積極的に活用し計画的な改良と維持補修により、安全で効果的な道路環境の維持に努めます。

田野畑村総合バス「タノくんバス」は、児童生徒の登下校を中心とした運行となっていますが、村民のニーズに合わせた柔軟な対応を検討します。地域公共交通活性化協議会が運営する予約型デマンド交通「くるもん号」では、加齢に伴う身体機能の低下などのため、運転に不安を感じるようになった高齢ドライバーなど、運転免許返納者や高齢者の運賃無償化に向けた検討を行うとともに、公共交通の維持および確保のために総合的な交通対策を推進します。

令和6年4月に開業40周年を迎える三

冒頭にも触れましたが、人口減少対策は特定地域の問題ではなく、国を挙げて喫緊に取り組まなくてはならない大きな課題です。本村では他自治体に先駆けて保育料の無料化を実現したほか、エンゼル祝い金の交付、医療費・給食費の無料化など、子育てに対しては手厚い支援策を講じてきたものと思っておりますが、少子化に歯止めが掛からない現状を鑑みますと、金銭的ではないところへの支援が求められているのかもしれないと。

Uターンを含め、移住定住先として選んでいただくためには、暮らしやすい地域づくりを推進し、住んで良かったと感じる村民の割合を高め、「凛として輝き続ける田野畑村」を実現させる必要があります。そのため、人口が少ないながらも村民の英知と力を結集させ、心をひとつにして確実に前進していく「オール田野畑・ワンチーム」の体制を構築すべく傾注してきました。むらづくりの主役は村民の皆さまであることを念頭に、次世代に未来永劫持続可能な村として引き渡せるよう、堅実な行財政運営に努めます。

令和6年度が、村民一人一人にとって災害や事故などがなく健やかな1年となる年となりますよう、そして安心して安全に暮らせる地域の実現のため、引き続き議員各位をはじめ、村民の皆さまの村政運営に対するなお一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。

令和6年第2回村議会定例会で藤岡宏章教育長が、教育行政運営の考え方や主な施策などを示した教育行政方針を述べました。

はじめに

能登半島地震で甚大な被害にあわれた地域の皆さまにおかれましては、大きな悲しみとつらいお気持ちの中、懸命に復旧・復興に取り組まれていることと思います。被災された全ての皆さまにお見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになりました方々に心よりお悔やみを申し上げます。

本村に甚大な被害をもたらした東日本大震災の発災から間もなく13年を迎えようとしています。



能登半島地震の状況から、東日本大震災発災時、またその後の復旧・復興の過程を思い起こし、自然とともに生きる私たちだからこそ、危機管理認識、防災意識を持ち、高めていくことが必要であると改めて考えるとともに、心のサポートや震災の教訓の次世代への継承など、今後も重点的に取り組んでいかなければならないと考えています。

教育行政については、引き続き、児童生徒一人一人に寄り添った支援に取り組むとともに、「いわての復興教育」の一層の推進、学校・家庭・地域の協働による学びの場の充実、児童生徒そして村民の皆さまの健康と安全を第一に学びの保障に取り組みます。

令和6年度田野畑村教育施策を定めるに当たり、田野畑村総合計画との整合を図りながら、総合教育会議で策定された「田野畑村教育大綱」に基づき、基本目標である「ふるさとに愛着を抱き人間性豊かな人材を育てる」を達成するため、田野畑村の教育行政を推進します。

そこで、国・岩手県教育委員会の施策を参酌しつつ、田野畑村教育委員会の重要施策について申し上げます。

1 学校教育の充実

子ども一人一人の個性の伸長と学びの場を保障するために、お互いに認め合い、支え合う学校風土と「主体的・対話的で深い学び」を行う教育環境の実現を目指します。

①子どもたちの生きる力を育むこと 子どもたちが、▼確かな学力▼豊かな心▼健やかな体▼を総合的に兼ね備え、変容する社会に適応し、社会を創造するための「生きる力」を育む教育を進めます。

②新しい時代の学校経営の展開 これからの時代を担う子どもたちの成長を村を挙げて支えるための教育環境を構築するため、田野畑村教育振興運動、現在も活動を展開している地域学校協働活動、そして学校・家庭・地域が目指すべき目標やビジョンを共有し、より一層の連携・協働する「コミュニティ・スクール」を通じて、田野畑村ならではの教育環境づくりを目指します。

2 学校教育の指導の重点

①幼・小・中連携教育の視点に立つた教育活動

こども園・小学校・中学校それぞれ1園、1校である本村の利点を生

かし、幼・小・中の15年間を見通した幼小中連携教育に取り組みます。

田野畑村の自然・人・文化の良さを、豊かな体験活動を通して学ぶ「田野畑学」を研究・実践し、ふるさと田野畑村に愛着と誇りを持ち、日々変容を続ける予測困難な社会の中でも志を高く持ち、自己実現に向けて立ち向かうことのできる子どもたち、将来ふるさと田野畑村の良さを魅力について自信をもって話し、どこにいても田野畑村を考え、思いを寄せることのできる子どもたちを育てます。

②確かな学力を保障し、生き抜く力を育む教育活動

確かな学力の育成のため、生きる力の基盤となる知識・理解の確実な定着を図るとともに、学んだことを活用して課題を解決する力を育み、学びに向かう力・人間性などを総合的に育みます。

「主体的・対話的で深い学び」の実現を期して、村標準学力検査を小中学校全学年で実施・分析などを通じた、授業改善に取り組みます。

さらに、小中学校に整備を進めたICT教育環境を活用し、個別最適な学び、協働的な学びの実現に取り

組み、主体的かつ創造的な学習が進められるよう教職員の授業力向上を図るとともに、学校事務の適正化・効率化を図るなど、教職員の資質向上および教職員の働き方改革にも努めます。

③豊かな人間性や社会性を育む教育活動 自他の命を大切にし、他者の人権を尊重する教育を推進するとともに、「特別の教科 道徳」を中核とした道徳性の育成や小中連携教育の研究・実践による田野畑学での体験・奉仕活動、読書活動の充実により心の涵養に努めます。

不登校やいじめをなくすため、児童生徒一人一人がお互いを尊重し合う学校風土づくりと、「学校いじめ防止基本方針」に基づく未然防止と、いじめ事案への適切な対応に努めます。不登校対策では、新たに村費負担による支援員の配置を計画し、児童生徒および保護者に寄り添った支

援の充実を引き続き努めます。 ④健やかな体を育む教育活動 運動やスポーツに親しむ習慣や能力を身に付けるように、小中学校の教科体育や業間運動の充実、部活動指導員の配置の計画やスポーツ少年団活動と連携を図り推進します。

⑤多様な支援の充実を図る教育活動

児童生徒の安全・安心な教育活動を保障することや、特別支援学級の設置・充実により個別の支援に注力するとともに、児童生徒の自立や社会参加に必要な力を育むため、引き続き支援員の配置を計画しています。教育の機会均等のために、ニーズに対応した就学援助や奨学金の貸与を行います。

児童生徒が安全安心で快適に学び、活動できるよう学校施設の環境改善および適正な管理に努めます。

3 青少年の健全育成、生涯学習、スポーツ活動、芸術・文化

人と人、人と地域がつながる機会を充実し、さまざまな学習活動、ス

ポーツ活動、歴史・文化資源に触れることで、心豊かに生きがいを持って暮らすことのできる社会の実現を目指します。

①個々の学習や活動意欲を盛り立て支援する活動の展開

各種社会教育事業、生涯教育の事業を村民のニーズに応じて、計画的な取り組みを行い、発表や交流機会となる村民文化展の開催や、郷土芸能発表会の開催を支援します。

全県共通課題と推進区ごとの課題に基づいた教育振興運動の進展を図るため、推進区ごとの体制の整備と相互の交流や地域学校協働活動やコミュニティ・スクールとの連携・協働を進め、その取り組みの発表の場や村民の研修の場として「田野畑村教育のつどい」を開催します。

地域や家庭の教育力の充実・向上のため、発達段階に応じた家庭教育学級を開催し、子どもたちの健全育成や基本的生活習慣の確立を目指します。

友好都市である深谷市との小学校交流事業を実施し、児童の交流を深めます。

②スポーツ活動への関心を高め、健康寿命をのばす活動の展開

中学校部活動の地域移行への指向やスポーツ少年団活動などの充実のため、推進体制の構築を図るよう

村体育協会、スポーツ推進委員、各種団体などより一層の連携を図るとともに、村民のスポーツ活動を推進し、村民の健康と生きがいづくりにも努めます。

③貴重な文化財や郷土芸能の保存・継承の活動の展開

村民文化展や青少年劇場を開催し、村民や児童生徒の芸術文化活動の振興を図ります。

芸術文化活動の振興のため、村芸術文化協会や郷土芸能伝承団体および各種サークルの支援を行います。指定文化財や希少動植物をはじめ、貴重な文化財を後世に伝えていくため、適正な保存と学習への活用にも努めます。

むすび

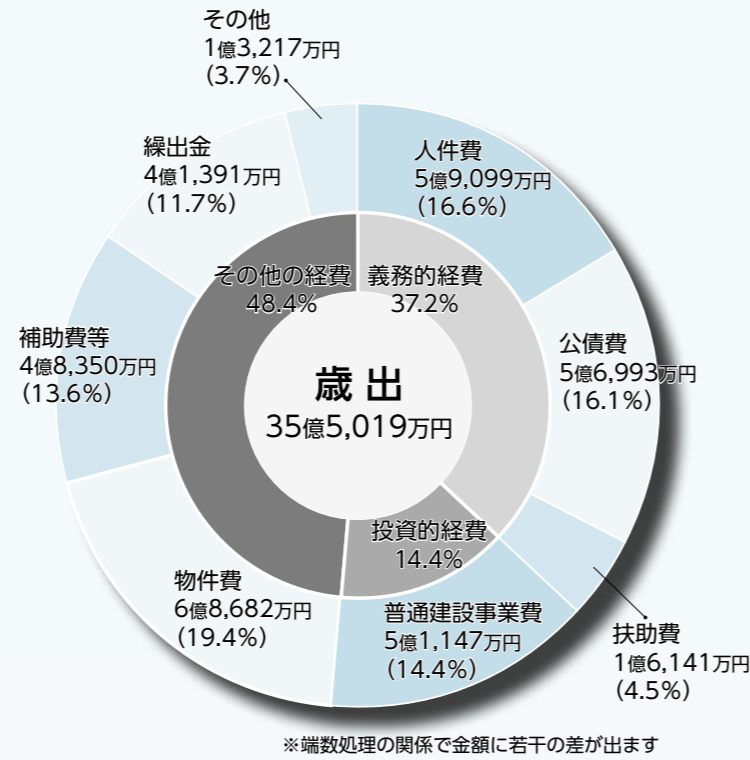
田野畑村の未来に向けた人づくりの使命を自覚し、本村だからできる教育の実現を目指して、子どもたちはもとより村民を挙げて、より一層学習に取り組めるように、田野畑村の教育行政の推進に鋭意努めます。議員の皆さまをはじめ、村民の皆さまのご理解とさらなるご協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和6年度の主な事業

【環境】	
思惟大橋コミュニティ公園管理事業	263万円
再生可能エネルギー等導入促進事業	120万円
【生活】	
認定こども園運営事業	1億 541万円
各種予防接種事業	573万円
エンゼル祝い金給付事業	360万円
育英奨学金貸付事業	307万円
防火水槽等整備事業	194万円
田野畑村消防団活動補助金	183万円
住宅建築物省エネ改修推進事業	170万円
義務教育入学および卒業祝金支給事業	143万円
田野畑村難聴者補聴器購入助成事業	50万円
【学習】	
中学校エアコン設置事業	1億 854万円
特別支援教育支援員配置事業	1,118万円
子ども自立支援事業	874万円
【産業】	
草地畜産基盤整備事業	2,641万円
ブルーツーリズム推進事業	850万円
インバウンド観光推進事業	840万円
田野畑地域資源ブランド化推進事業	767万円
園芸農家活性化支援事業	170万円
【交流】	
地域おこし支援事業	1,919万円
田野畑村地域づくり交付金	800万円
協働による地域づくり推進事業	104万円
早稲田大学協働連携推進事業	60万円
【交通・情報基盤】	
総合バス運行事業	6,036万円
田野畑村DX推進事業	372万円

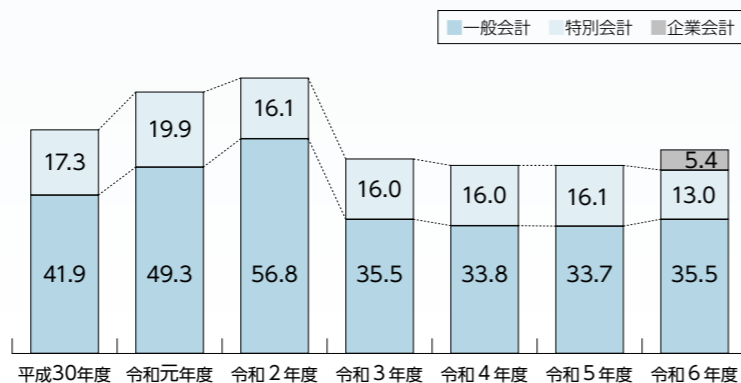
令和6年度一般会計歳出予算の状況



◎用語の説明

- 歳出…1会計年度に村から出ていくお金の見積り
- 義務的経費…職員の給与や社会保障などに使われるお金
- 投資的経費…施設や道路など、将来に残るものに使われるお金
- 人件費…村職員の給与や議員・委員などの報酬
- 公債費…村の借金の返済
- 扶助費…要援護高齢者・高齢者などの生活維持や保育活動に使われるお金
- 普通建設事業費…道路や公共施設の建設事業などに使われるお金
- 物件費…消耗品や備品の購入、光熱水費などに使われるお金
- 補助費…村が交付する補助金や他の団体と共同で事業を行うための負担金
- 歳入…特別会計に充てられるお金

一般・特別会計の当初予算規模の推移【単位：億円】



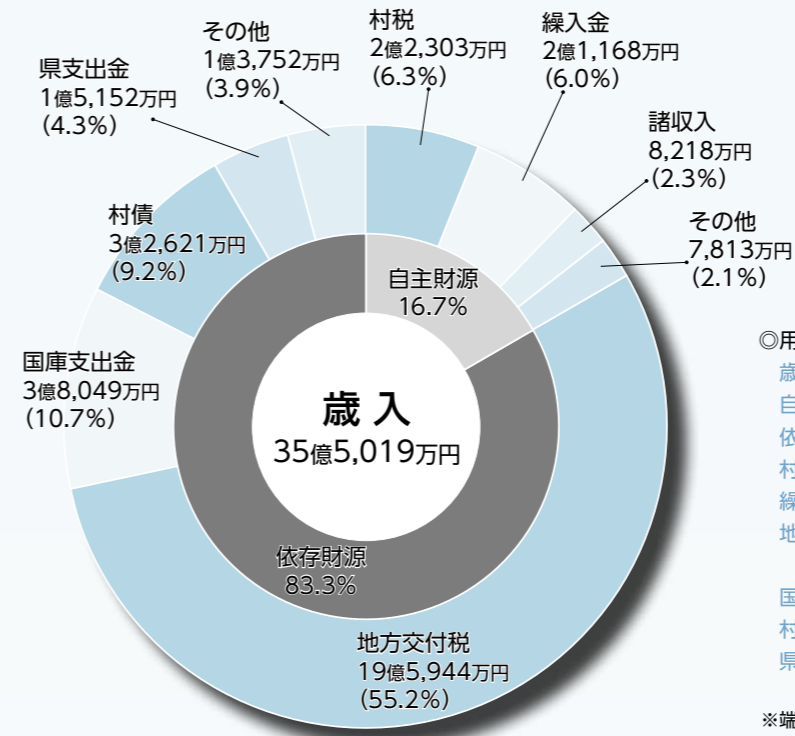
新年度予算の概要

一般会計35億5千万円余り、特別会計と公営企業会計を含めた全会計では53億8千万円余りとなり、前年比、一般会計で5.4%、全会計で8.2%の増加となりました。

主な要因は、中学校エアコン設置事業や草地畜産基盤整備事業、村中央防災センター改修整備事業などの普通建設事業費の増額によるものです。

新年度の予算編成に当たっては、昨年度と同様に人口減少や少子高齢化、災害復興事業の完了などの影響により税収の減少が見込まれる中、限られた財源を有効に活用するために、継続事業の精査や縮減に取り組むとともに、経常経費の見直しを図りました。

令和6年度一般会計歳入予算の状況



◎用語の説明

- 歳入…1会計年度に村に入ってくるお金の見積り
- 自主財源…村が自主的に集められるお金
- 依存財源…国や県から交付されるお金や村債
- 村税…村民税など、村に納める税金
- 線入金…基金などから一般会計に繰り入れるお金
- 地方交付税…全ての市町村が一定の行政サービスを行えるように国が交付するお金
- 国庫支出金…村が行う事業に対して国が交付するお金
- 村債…借入金のうち長期にわたり返済するもの
- 県支出金…村が行う事業に対して県が交付するお金

令和6年度の予算規模(全会計)

※1万円未満四捨五入。端数処理の関係で金額に若干の差が出ます

区分	令和6年度	令和5年度	増減	伸び率	
一般会計	35億5,019万円	33億6,927万円	1億8,092万円	5.4%	
特別会計	国民健康保険会計 事業勘定	5億7,699万円	5億9,176万円	△1,477万円	△2.5%
	国民健康保険会計 直診勘定	1億1,906万円	1億1,882万円	25万円	0.2%
	簡易水道会計	-	2億842万円	△2億842万円	△100%
	集落排水会計	-	5,947万円	△5,947万円	△100%
	下水道会計	-	3,683万円	△3,683万円	△100%
	介護保険会計 事業勘定	5億4,800万円	5億3,836万円	964万円	1.8%
	介護保険会計 サービス勘定	722万円	970万円	△248万円	△25.6%
後期高齢者医療会計	4,653万円	4,140万円	513万円	12.4%	
小計	12億9,780万円	16億4,755万円	△3億4,975万円	△19.1%	
公営企業会計	簡易水道事業会計	3億7,228万円	-	3億7,228万円	100%
	下水道事業会計	1億6,274万円	-	1億6,274万円	100%
	小計	5億3,502万円	-	5億3,502万円	100%
合計	53億8,302万円	49億7,402万円	4億900万円	8.2%	

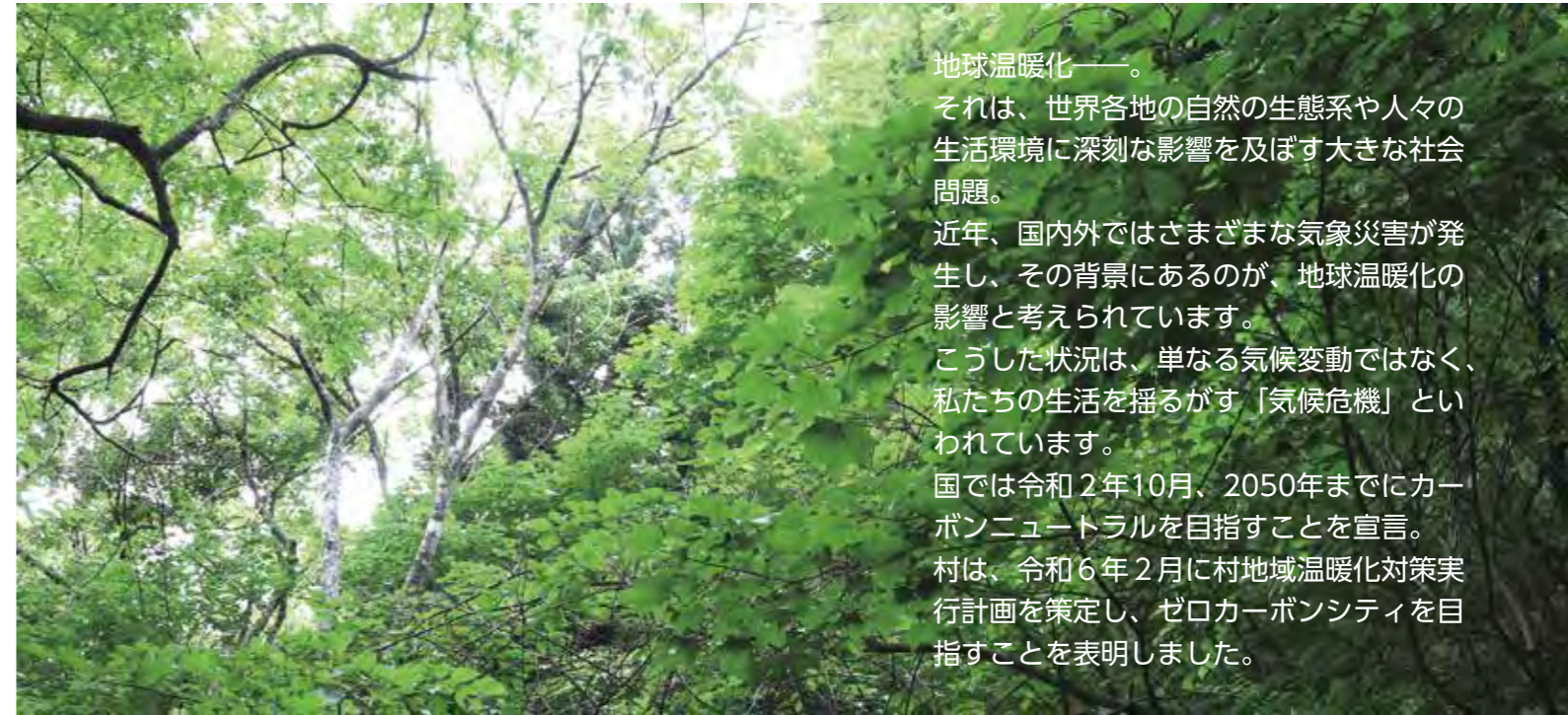
※公営企業会計の予算額については、収益的支出と資本的支出の予算額の合計を記載しています

# 誰もが無関係ではない地球温暖化

## ゼロカーボン

# 今、脱炭素へ踏み出そうー

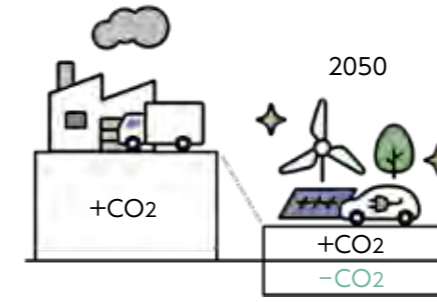
企画観光課 (☎34-2111)



地球温暖化——。それは、世界各地の自然の生態系や人々の生活環境に深刻な影響を及ぼす大きな社会問題。近年、国内外ではさまざまな気象災害が発生し、その背景にあるのが、地球温暖化の影響と考えられています。こうした状況は、単なる気候変動ではなく、私たちの生活を揺るがす「気候危機」といわれています。国では令和2年10月、2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言。村は、令和6年2月に村地域温暖化対策実行計画を策定し、ゼロカーボンシティを目指すことを表明しました。

カーボンニュートラルって何だろう？

カーボンニュートラルとは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、植林、森林管理などによる吸収量を差し引いて合計を実質的にゼロにすることをいいます。カーボンニュートラルの達成のためには、温室効果ガスの排出量の削減と吸収作用の保全や強化する必要があります。



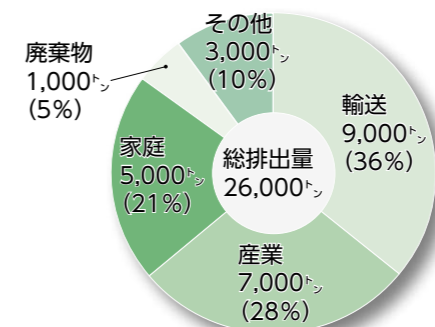
カーボンニュートラルのイメージ

村の二酸化炭素の排出量はどのくらい？

村の基準となる平成25年度の二酸化炭素の排出量は2万9千ト。令和2年度の排出量は2万6千ト、

森林吸収量（推計）は2万8千トとなっており、総排出量は実質ゼロとされています。

部門別の排出割合は、最も多いのが輸送部門の36%、次いで産業28%、家庭21%、廃棄物5%、その他10%となっています。これは、仕事や家庭で車を利用する人が多いことが原因と考えられています。



※部門ごとに端数処理をしているため、各部門の排出量と合計が一致しません

令和2年度の二酸化炭素排出量内訳

村の削減目標は？

長期目標は、「2050年度まで、温室効果ガス排出量実質ゼロを継続し続ける」こと。また、中期目標は、「2030年度に、温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減する」ことを目標に、さらなる削減に努めます。

### 目標達成に向けた3つの施策

#### 施策1 省エネルギー対策の推進

▼家電を買い替える時は、電気消費量の少ない物を選ぶ▼車を買う替える時は、環境に優しい電気自動車やハイブリッド車を選ぶ▼住宅の断熱性を高めるーなど、エネルギー消費量そのものを減らす行動を推進します。

#### 施策2 再生可能エネルギーの導入促進

温室効果ガスの削減だけでなく、エネルギーの購入費を抑え、停電時などの防災対策にも役立つ太陽光発電設備の設置や環境に優しいペレットストーブの導入など、エネルギーをつくるための設備導入を推進します。

#### 施策3 多様な手法による地球温暖化対策の推進

リサイクル資源の分別を徹底することや食品ロスを防ぐこと、ごみの減量化を図り、植栽や森林病害虫の被害調査や駆除などを通して、適切な森林整備を推進します。

### 二酸化炭素削減のために私たちにできること

家庭から排出される二酸化炭素は全体の21%。実は、私たちの生活の中にはエコな取り組みがたくさんあります。それは環境に優しいだけでなくお財布にも優しい取り組みです。私たち一人一人が意識をし行動することで、将来の世代も安心して暮らせる持続可能な社会をつくりましょう。

<p>最初の5秒間は時速20*を目安に発進</p> <p>年間削減量 194* 年間節約額 11,950円</p>	<p>照明をLEDに替える</p> <p>年間削減量 43.9* 年間節約額 2,790円</p>	<p>野菜の下ごしらえは電子レンジで</p> <p>年間削減量 35.7* 年間節約額 2,800円</p>	<p>冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」にする</p> <p>年間削減量 30.1* 年間節約額 1,910円</p>	<p>シャワーをいつもより1分短縮</p> <p>年間削減量 28.7* 年間節約額 3,210円</p>
<p>冬のエアコンは20*で1日1時間短縮</p> <p>年間削減量 19.9* 年間節約額 1,260円</p>	<p>トイレのふたを閉める</p> <p>年間削減量 17* 年間節約額 1,080円</p>	<p>テレビ画面の明るさを下げる</p> <p>年間削減量 13.2* 年間節約額 840円</p>	<p>夏のエアコンは28*で1日1時間短縮</p> <p>年間削減量 9.2* 年間節約額 580円</p>	<p>洗濯物をまとめて洗う</p> <p>年間削減量 2.9* 年間節約額 4,510円</p>

### 再生可能エネルギー設備導入費用などの一部を補助

#### 再生可能エネルギー等導入促進補助金

村は、太陽光発電などの導入費用の一部を補助しています。詳しくは、村ホームページを確認するかお問い合わせください。

◆補助対象…▶居住または居住予定の住宅に対象設備を設置▶対象設備が設置された住宅を購入ーなど

#### ◆補助対象設備と補助額

①太陽光発電…上限20万円

②太陽熱利用設備…上限5万円

③木質バイオマス熱利用設備…上限20万円

◆申請・問い合わせ先…企画観光課 (☎34-2111)

#### ■住宅の省エネ改修費用の補助を予定しています

村は、本年度から既存住宅の省エネ改修費用の補助を予定しています。詳しくは、広報たのはたや村ホームページでお知らせします。

### 育英奨学資金の貸付限度額を引き上げ

村は、向上心に燃える生徒学生で経済的な理由で進学が難しい人に、育英奨学資金の貸し付けを行っています。

4月から貸付限度額を引き上げます。詳しくは、問い合わせてください。

◆対象：次の①～④の全てに該当する、高校や短大、大学、

学校	貸付限度額
高校	3万円
高専・専門学校	4万円
短大・大学 ※入学金などは50万円	5万円
大学院	8万円
医科・歯科・獣医科・薬学科など	16万円

大学院などの在学者と入学予定者

① 村に住民票があり、村内に3カ月以上住んでいる人の子ども

② 人物や学業が優れていて健康な人

③ 経済的な理由で就学が困難と認められる人

④ 在学または最終出身学校長から奨学生の推薦を受けている人

◆返済方法：卒業後、10～20年以内に年賦か半年賦、月賦で返済

※貸付額により期間が異なります

◆貸付金利：無利子

◆申し込み方法：教育委員会に電話連絡してください。後日、詳しい資料や申込用紙を配布します

◆その他  
① 他団体から奨学金の貸し付けを受ける人は対象外

② 奨学生は年度途中でも随時受け付けています

◆申し込み・問い合わせ先：教育委員会 (☎34-22226)

### 奨学金の返還を支援します

村は、村内の定住を促進するために、奨学金の返還を支援します。申し込みを希望する人は、総務課に電話連絡してください。資料や申込用紙を配布します。

◆対象：奨学金を返還中の人で、次の①～④の全てに該当

① 村に住民登録をし、村民税の課税をされている

② 村内に居住し、10年以上定住する意思がある

③ 就業年度に奨学金などを返

還予定か返還中

④ 村税などを滞納していない

◆対象の奨学金：▼村奨学金▼日本学生支援機構奨学金—など

◆助成額：申請する前年度に返還した額

※単年度の上限は25万円

◆支援期間：奨学金の返還が完了するまで

◆申請・問い合わせ先：総務課 (☎34-2111)

### 簡易水道・下水道事業が

### 地方公営企業会計に移行します

4月から、簡易水道事業と下水道事業(特定環境保全公共下水道事業および集落排水事業)が、地方公営企業会計へ移行します。移行によって皆さんに影響が生じることはありません。

また、田代・千足簡易給水施設、南大芦、浜岩泉飲雑用水道施設の経営方法の変更はありません。

せん。

地方公営企業会計とは、地方公共団体が経営する水道事業、下水道事業などの事業活動を、民間企業のように効率的に運営するために導入された会計方式です。

◆問い合わせ先：地域整備課 (☎34-21113)

### 村勢発展に支援を続けた功績をたたえ 工藤裕弘さんに名誉村民の称号授与へ

☎総務課 (☎34-2111)

村は、令和6年第2回村議会定例会で議会の同意を経て、工藤裕弘さん(87)＝東京都＝に名誉村民の称号を贈ることを決めました。

工藤さんは、村の発展を切に願い、児童生徒の教育設備の充実やイベント開催の支援など、村勢全般に対して継続的な支援を続け、村の振興や発展に大きな貢献をされました。

工藤さんは昭和11年、萩牛地区で生まれ、沼袋小を卒業しました。その後、盛岡市に転居し、盛岡市立下小路中、盛岡一高を卒業。高校時代に医師を志した工藤さんは、岩手医科大で学業に励み、岩手医科大大学院で医学博士号を取得し



工藤裕弘さん

ました。

医師となってからは、大学病院や首都圏の先進的な病院に勤務し、外務省からの要請を受け、アフリカやインドなどの数十カ国の大使館、在外企業などの就業者の健康管理や診察に尽力。昭和54年に埼玉県で所沢内科クリニックを開業し、現在に至ります。



報告書を手渡す内田信平委員長☎と熊谷吉秀副委員長☎

回の検討内容が持続可能な庁舎建設の計画につながってほしい」と期待を込めました。

報告を受けた佐々木村長は「これからの村を背負う若い世代の皆さんの意見をまとめていただいた。これから村民の皆さんに説明した上で、理解を得ながら丁寧に進めていきたい」と思いを語りました。

報告書や検討委員会の会議概要は村ホームページに掲載しています▶



### 新庁舎建設検討委員会 検討内容を村に報告

☎総務課 (☎34-2111)

村新庁舎建設検討委員会の報告会が3月5日、村役場で行われ、同委員会から内田信平委員長と熊谷吉秀副委員長が出席。内田委員長から「多くの村民の意見が反映された庁舎となるよう要望する」と佐々木靖村長に報告書が手渡されました。

同委員会では、昨年10月から2月まで、5回にわたり検討委員会を開催。令和元年12月に村がまとめた基本構想(素案)を基に、▶庁舎に求められる機能やサービス▶行政拠点の配置と連携▶建設候補地—の3項目について検討を重ねました。

内田委員長は「委員の皆さんからは、財政負担が少なく、建設後もしっかりと維持管理できることが大事だとの意見が出された。今

### 補聴器の購入費用助成が始まります

村は、難聴者の補聴器購入費用を助成します。申請を希望する人は、専門医の受診や補聴器を購入する前に保健センターに相談してください。

- ◆対象：次の①～③全てに該当する人
  - ① 村内に住所がある18歳以上の
  - ② 両耳の聴力レベルが40デシベル以上70デシベル未満で
  - ③ 購入の流れ

補聴器の種類	助成基準価格	助成割合	
		課税世帯	非課税世帯
高度難聴用ポケット型	41,600円	2/3	9/10
高度難聴用耳かけ型	43,900円		
耳あな型	43,900円		

※助成基準価格には、医師が認めたイヤモールド、消費税相当分、デジタル式補聴器の調整費用を別途追加  
 ※耳あな型補聴器も認めますが、助成基準価格は高度難聴用耳かけ型と同額とします

- ◆購入の流れ
  - ① 保健センターに連絡し必要書類を受け取る
  - ② 専門医の診察、検査を受診
  - ③ 補聴器の効果を確認し、自分に合った補聴器を選ぶ
  - ④ 医師に意見書、販売店に見積書を依頼
  - ⑤ 保健センターに申請
  - ⑥ 保健センターから助成の可否のお知らせが届く
  - ⑦ 給付券を持って補聴器を購入
- ◆その他：18歳未満の人は、別制度で補聴器の購入費用を助成しています
- ◆申請・問い合わせ先：保健センター（☎33-3102）

### 村営住宅などの入居者を募集します

村は、▼村営住宅2棟▼災害公営住宅2棟▼定住促進住宅4棟の入居者を募集します。住宅の位置など詳しくは、村ホームページを確認するか問い合わせてください。

- ◆入居資格：次の全てに該当する人
  - 村営住宅・災害公営住宅
    - ① 60歳以上または、同居する親族がいる
    - ② 収入要件を満たしている
    - ③ 住宅に困窮している
    - ④ 村税などの滞納がない
    - ⑤ 暴力団員ではない
  - 定住促進住宅
    - ① 家賃の支払いが可能
    - ② 村税などの滞納がない
    - ③ 暴力団員ではない
    - ④ 村に住民登録が可能
- ◆申し込み方法：次の書類を提出してください。申請書は村ホームページからダウンロードできます
- ◆入居申請書
- ◆所得証明書（最新年のもの）
- ◆住民票（入居者全員分）
- ◆納税証明書（入居者全員分）
- ◆入居可能日
- 村営住宅・災害公営住宅：5月1日以降
- 定住促進住宅：随時
- ◆申込期限
- 村営住宅・災害公営住宅：4月15日(月)
- 定住促進住宅：随時受け付け
- ※先着順で受け付けます
- ◆その他
  - ① 連帯保証人が必要です
  - ※村が認めた家賃債務保証法人も可
  - ② ペットの飼育はできません
- ◆村への移住を希望する子育て世帯に家賃補助
- ◆対象：村へ移住・定住を希望する人で、同居する中学生以下の子どもまたは、妊娠中の配偶者がいる
- ◆補助額：家賃の半額を補助
- ◆申し込み・問い合わせ先：地域整備課（☎34-2113）

### 带状疱疹予防接種の費用助成が始まります

村は、带状疱疹予防接種の費用を助成します。

- ◆対象：50歳以上で4月1日以降に接種した人
- ◆助成額：4千円 ※1人1回まで
- ◆村診療所での接種：予約が必要
- ◆接種後に助成額を差し引いた料金を支払ってください
- ◆村診療所以外での接種：接種を希望する医療機関に直接予約

約をしてください。医療機関での全額支払い後に保健センターに申請してください

- ◆申請時の持ち物
  - ① 印鑑
  - ② 振込先口座が分かるもの
  - ③ 医療機関が発行した領収書
  - ④ 接種医療機関が発行した予診票などの写し
- ◆申請・問い合わせ先：保健センター（☎33-3102）

### こども食堂支援事業補助金

村は、こども食堂を運営する団体の運営費用を補助します。申請書は保健センターで配布するほか、村ホームページからダウンロードできます。

- ◆対象：次のどちらにも該当する団体
  - ① 3人以上で構成し村内でこども食堂を運営する団体
  - ② 本年度中にこども食堂を開

設予定または、すでに開設している団体

- ◆対象経費：▼食材費▼消耗品費▼会場使用料
- ◆補助額：年度内上限10万円
- ※支出額が10万円を下回る場合は支出額を補助
- ◆申し込み・問い合わせ先：保健センター（☎33-3102）

### 募集する住宅の概要

住宅の種類	募集住宅	住所	間取り	家賃（月額）
村営住宅	田野畑団地1-1号棟	和野532-20	3DK	17,300円～44,400円
	田野畑団地2-1号棟	和野532-22	2DK	15,700円～41,600円
災害公営住宅	黎明台団地22号棟	切牛110-42	3DK	19,100円～50,700円
	松前沢団地1号棟	松前沢25-3	2DK	16,400円～43,500円
定住促進住宅	菅窪住宅15号棟	菅窪211-1	2DK	8,700円～23,200円
	沼袋住宅4号棟	奥地52-2	3DK	30,000円
	大芦住宅D号棟	大芦21	2DK	45,000円
	西和野住宅7-1号棟	菅窪18-40	1K	30,000円

※3DK…家族向け ※西和野住宅…単身・移住者向け



献花で東日本大震災の犠牲者を追悼する参加者の皆さん

### 犠牲者への思い寄せる追悼式

東日本大震災から13年を迎えた3月11日。村内各地で犠牲者への祈りがささげられました。島越コミュニティセンターでは、東日本大震災追悼式(島越自治親交会主催)が開催され、島越地区の住民など、村内外から約50人が参加しました。式では、同自治親交会の鈴木隆昭会長が「亡くなられた方々に思いを寄せ、二度と同じ悲劇を繰り返さないために伝えつないでいく」とあいさつ。参加者は、黙とうや献花で犠牲者の安らかな眠りを祈りました。

### 地域おこし協力隊の任期終了

石川豊さん(68)が3月31日、地域おこし協力隊の任期を終えました。村は2月29日、卒業報告会を村役場で開催。参加した地域住民など26人の前で、▶ワカメ養殖漁場調査▶促成種苗生産試験▶小中学校での講義など、水産振興に取り組んだ4年間の活動を振り返りました。

石川さんは「田野畑村には素晴らしいワカメがある。多くの方が水産業に興味や関心を持ってほしい。4年間ありがとうございました」と感謝を語りました。



地域おこし協力隊の4年間を振り返る石川豊さん

### 田中生が能登半島地震を支援

田野畑中の生徒会執行部の2年生が2月20日、令和6年能登半島地震の被災者を支援するための義援金を村に届けました。義援金は、昨年9月に盛岡市で行った宿泊研修の売上金と2月6日から8日まで校内で寄付を呼びかけたもの。生徒会執行部の齋藤千穂さんは「東日本大震災の時に石川県輪島市の皆さんから義援金を頂いたと聞いた。私たちの思いを込めた募金を輪島市の皆さんに届けてください」と佐々木靖村長に義援金を手渡しました。



佐々木靖村長に義援金を届けた田野畑中の生徒たち

※学年は取材日(2月20日)現在

## 令和6年度 人事異動

### 村職員

- ◆**総務課**  
総務・財政班主査―佐々木歩、同主事―館石竜馬、同主事―畠山隼弥、防災・広報班主任―佐々木祐介
- ◆**企画観光課**  
特定政策推進室長兼総務課主幹―菊地正次、同室主事―坂本文也、同室主事―吉田圭介、企画・観光班主事―染矢さとみ
- ◆**税務会計課**  
税務・会計班主査―大澤香苗、同主事―中机裕汰
- ◆**地域整備課**  
上下水道・住宅班主任主査―落合正幸、同主事―本波侑樹
- ◆**産業振興課**  
水産・特産振興班主事―山崎真穂
- ◆**健康福祉課**

- 健康福祉班主任主査―畠山多加子、同主査―山口芳美、同主査保健師―小野寺洋美、地域包括支援センター主事―下館航輝
- ◆**村診療所**  
国保診療所事務長兼国保歯科診療所事務長兼健康福祉課地域包括支援センター長―佐々木和也
- ◆**教育委員会事務局**  
主任主査―三上恵美
- ◆**新採用**  
国保診療所長―中村翔也、住民生活課住民生活班主事―菅原良祐
- ◆**新採用(任期付き)**  
総務課総務・財政班主事―佐々木優花、企画観光課特定政策推進室主任―村木南美、企画観光課企画・観光班主事―小松山優翔
- ◆**再任用短時間勤務職員**  
教育委員会事務局―横田千穂子

- ◆**退職者**  
国保診療所長―近江三喜男

### 広域消防

- 分署長―山本辰志
- (退職)
- 副分署長―松岡法城
- (岩泉消防署・救急係長)
- 消防第2係長―堀合秀勝
- (川井分署・副分署長)
- 消防主任―和野崎泰史
- (新里分署・消防第3係長)
- 消防主任―箱石浩一
- (退職)
- 消防士―佐々木聖也
- (川井分署・消防士)
- 消防士―山岸竜也
- (退職)

異動転出者  
カッコ内は異動先

### 教職員

- ◆**田野畑小**  
教諭―芳賀志歩
- (退職)
- 講師―伊藤樹梨藍
- (任期満了)
- 講師―三田地咲紀
- (滝沢市立鶴飼小・教諭)
- ◆**田野畑中**  
校長―佐々木敏之
- (矢巾町立矢巾中・校長)
- 教諭―村木明子
- (葛巻町立葛巻中・教諭)
- 教諭―工藤利保
- (岩泉町立小本中・教諭)
- 養護教諭―千葉奈実
- (盛岡市立向中野小・養護教諭)

異動転出者  
カッコ内は異動先



お世話になりました

村職員、広域消防職員、学校教職員などの人事異動をお知らせします。

山火事に注意しましょう



昨年、県内では28件の山火事が発生し、そのうち約6割が3～5月の期間に集中しています。

この期間は例年、野山が乾燥し、風の強い日が多くなります。このように、林野火災が起こりやすい気象条件が重なることが原因の一つになっています。

また、春先は行楽や山菜採りのために山に入る人が増加することや、農作業に由来する枯草焼きなどが山林に飛び火することも原因になっています。

火災のほとんどが不注意から発生しています。火の取り扱いには十分に注意し、火災を起こさないようにしましょう。

●山火事防止対策の重点

①強風時や乾燥時には、たき火、野焼き、

火入れをしない

②燃え広がりやすい枯れ草などがある場所では、たき火、野焼きをしない

③たき火や野焼きの場所を離れるときは、完全に消火する

④火入れをするときは、必ず市町村長の許可を得る

⑤たき火、野焼き、火入れをするときは、必ず消防署に届ける

⑥たき火や野焼きは一人で行わず、水などの消火の備えをする

⑦森林の周囲1キロで行う寄せ焼きや筋焼きによる野焼きは、火入れとみなされる

⑧たばこは指定された場所で喫煙する。吸い殻は必ず火を消し、投げ捨てをしない

⑨火遊びは絶対にしない



ストレスと上手に付き合しましょう



4月は、▶進学▶入社▶部署異動▶気温の変化一など、生活環境にさまざまな変化がある時期です。気候や環境が変化することで、気付かないうちにストレスをためてしまいます。

○ストレスの原因「ストレッサー」

ストレッサーは4種類あり、ストレスの原因で一番多いものは心理社会的ストレッサーといわれています。

①物理的…▶暑さ▶寒さ▶騒音▶光一など

②化学的…▶タバコ▶酒▶薬物一など

③生物的…▶細菌▶ウイルス▶花粉一など

④心理社会的…▶人間関係▶仕事での問題▶家庭での問題一など

○ストレス反応

ストレス反応は大きく分けて3つあります。長い時間強いストレスにさらされることによ

て、心や体に影響を与え、うつ病や適応障害を引き起こす可能性があります。

①心理面反応…▶不安▶イライラ▶抑うつ気分一など

②身体面反応…▶頭痛▶肩こり▶腰痛▶目の疲れ、胃痛一など

③行動面反応…▶食べ過ぎ▶集中力の低下▶飲酒▶喫煙一など

○ストレスとの付き合い方

ストレスをなくすることはできないため、上手に付き合っていくことが大切です。ストレスをうまくコントロールすることで、その人にとって良い方向に働く場合もあります。イライラする、寝つきが悪いなど、普段と心身の状態が違うときは、ストレスを強く感じている状態です。無理をせず、休養や気分転換をしましょう。

盛岡大の学生が図書館ボランティアを行いました

盛岡大日本文化学科の学生4人が3月4日から8日までの5日間、アズビィ楽習センター図書室で図書館ボランティアを行いました。学生は、図書館の快適な利用につなげるために、▶本のラベル貼り替え▶本棚の整理▶書誌更新一などに汗を流しました。

森藤千夏さん(2年)は「教育に関わる図

書館を子どもたちの居場所にしたいと思っている。子どもたちが快適に利用するためには、本棚の整理や本の探しやすさなどの工夫が必要。子どもたちには、大人に読む本を決められるのではなく、自主的にたくさんの本に触れることで豊かに成長してほしい」と願いを込めました。

図書室の利用者カードをリニューアル

アズビィ楽習センター図書室の利用者カードのデザインが変わります。旧デザインのカードも利用できますが、新デザインのカードへの変更や発行を希望する人は、教育委員会に申し出て下さい。



お気に入りの本を手笑顔を見せる盛岡大の学生たち

村食生活改善推進員が紹介する健康レシピ



サツマイモとエビのヨーグルトサラダ

※1人当たりの栄養価…エネルギー123キロカロリー、食塩0.3グラム

食改さんからの減塩アドバイス…今回はヨーグルトが減塩のポイントです。マヨネーズと混ぜることでまろやかな味わいとコクがおいしい一品です

■材料(2人分)

サツマイモ	100グラム	塩こしょう(少々)	0.2グラム
むきエビ	50グラム	マヨネーズ	小さじ2
スナップエンドウ	4本	プレーンヨーグルト	大さじ2

■作り方

- ①…サツマイモを1センチ幅のいちょう切りにし、スナップエンドウの筋を取る
- ②…鍋にサツマイモを入れてかぶる程度の水を加える。沸騰したら弱火にしてゆでる
- ③…サツマイモに火が通ったら、むきエビとスナップエンドウを加えて1～2分ゆで、スナップエンドウを取り出して水に浸す
- ④…サツマイモ、むきエビ、スナップエンドウをそれぞれザルに上げて水気をしっかり取る
- ⑤…ボウルにプレーンヨーグルトとマヨネーズを入れて混ぜ、サツマイモ、むきエビ、スナップエンドウを加えてあえたら完成

# お知らせ

**募** 参加者などを募集中

**知** いろいろなお知らせ

## 知 固定資産税評価額を減価

令和6年1月1日時点で、土砂災害警戒区域内にある宅地と砂防指定地内にある山林の固定資産税の算定の基になる評価額を減価します。

### 《土砂災害警戒区域内の宅地》

土砂災害警戒区域（レッドゾーン）は、土砂災害が発生する恐れがある土地を県が法律に基づいて指定する区域です。

建築物の構造規制や一定の開発行為に対する制限などが発生します。

◆減価率…評価額の40%を減価

### 《砂防指定地内の山林》

砂防指定地は、治水上砂防のための設備が必要な土地や、一定の開発行為の禁止・制限を必要とする土地として国が指定する区域です。

◆減価率…評価額の50%を減価

### 《共通事項》

◆その他…手続き不要

◆問い合わせ先…税務会計課

(☎34-2112)

## 知 固定資産税課税台帳を縦覧

固定資産税の課税の基になっている「固定資産税課税（補充）台帳」を縦覧します。

土地の売買や家屋の取り壊しを行った場合に台帳の内容が訂正されていないと、誤って課税されることがあります。忘れずに確認してください。

◆日時…4月1日(月)～4月30日(火)

午前9時～午後5時

※土、日、祝日を除く

◆場所…村役場

◆問い合わせ先…税務会計課

(☎34-2112)

## 知 6年度は土地と家屋の評価替え

固定資産税は、土地や家屋、償却資産の評価額から算出しています。令和6年度は、3年に一度の評価替えの年。過去3年間の資産評価の変動が土地と家屋の価格に反映されます。

評価額は4月中旬に送付する納税通知書や課税明細書などを確認してください。

◆土地の評価替え…土地の評価額は、県が公表する地価調査価格や不動産鑑定価格の7割程度を基準に決定しました

◆家屋の評価替え…家屋の評価は、再建築費（仮に今、建築した場合の建築費）を基準にします。建築物価の動向と家屋の経過年数を反映させて評価額を決定しました。増改築や取り壊しなどが無い限り本年度から3年間、据え置かれます

◆問い合わせ先…税務会計課

(☎34-2112)

## 知 高齢者なんでも相談シルバー110番

県高齢者総合支援センターでは、高齢者なんでも相談「シルバー110番」を設置し、高齢者やその家族からの相談に応じています。毎日の生活での困り事や悩み事、知りたいことなど、気軽に相談してください。法律や認知症などの専門的な相談にも応じます。

◆日時…月・水・金曜日

午前9時～午後5時

※祝日、年末年始を除く

◆電話相談・問い合わせ先…県

高齢者総合支援センター

(☎019-625-0110)

## 知 ごみ、環境の窓口が変わります

4月1日から、「ごみ」「環境」の窓口が、村保健センターから村役場本庁舎へ移転しました。

◆移転後の担当課と業務

### ①住民生活課

●ごみの問い合わせ

●粗大ごみの受け付け

●資源ごみ集団回収申請

●花笑みの村基金

◆問い合わせ先…住民生活課

(☎34-2114)

### ②企画観光課

●地球温暖化対策

●カーボンニュートラル

◆問い合わせ先…企画観光課

(☎34-2111)

## 知 村道などの通行止め期間延長

広報たのはた（令和5年12月号）でお知らせしていた、「冬期間の通行止め路線と区間」について、通行止め期間を3月下旬としていましたが、2月の大雪の影響により、4月下旬まで延長します。理解と協力をお願いします。

◆問い合わせ先…地域整備課

(☎34-2113)

## 知 国民年金保険料は16,980円

4月からの国民年金保険料は、月額16,980円です。

保険料は1年または、6カ月分をまとめて現金で前納すると割り引きがあり、大変お得です。

4月上旬に送付する納付案内書に、前納用の納付書を同封しますので、利用してください。

◆問い合わせ先…宮古年金事務所

(☎0193-62-1963)

## 募 ホテル羅賀荘で従業員募集

ホテル羅賀荘では、従業員を募集します。給与など詳しくは問い合わせください。

◆雇用形態…契約社員

◆業務内容…大浴場の清掃など

◆勤務時間…午前8時30分～午後5時30分 ※休憩1時間15分

◆加入保険…雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金

◆募集人数…若干名（年齢不問）

◆申し込み方法…電話連絡の上、履歴書を持参してください

◆その他…午前8時30分から午後0時30分までの4時間程度の勤務も可能です

◆申込期限…5月15日(水)

◆申し込み・問い合わせ先…株式会社羅中たのはた

(☎33-2611)

## 知 家畜飼養状況の報告を

家畜を飼養している人は、毎年、飼養状況の報告が法律で義務付けられています。期限内に令和6年分の定期報告をお願いします。下記の家畜は、愛玩用でも報告が必要です。

◆報告期限と家畜の種類

①4月15日(月)…牛、鹿、綿羊、ヤギ、豚、イノシシ、馬

②6月15日(土)…鶏、アヒル、ウズラ、キジ、ダチョウ、ホロホロ鳥、七面鳥

◆報告方法…家畜保健衛生所などから配布されている定期報告書様式に2月1日時点の飼養状況を記載して提出してください

◆報告・問い合わせ先…県中央家畜保健衛生所(☎019-688-4111、FAX019-688-4012)

## 人口と世帯

3月1日現在( )は前月比

人口 2,966人(-7)

男 1,497人(-2)

女 1,469人(-5)

世帯 1,347世帯(+1)

## 火災

(2月21日～3月20日)

火災の【今月】 0件

発生件数【今年】 0件

無火災の連続記録

(3月20日現在) 211日

## 知 子ども食堂開催に協力を

たのまるプロジェクトでは、6月に子ども食堂「第1回たのまる食堂」を開催します。運営に当たり、食材や応援金などを受け付けています。皆様のご協力をお願いします。

たのまるプロジェクトは、村内の子育て世代で構成する子育て支援団体です。

◆受け付ける食材など

①食材…米▶野菜▶未開封のお菓子—など

②応援金…1口500円

◆寄付の方法

①食材…日時と場所をお知らせください。担当者が受け取りに伺います

②応援金…指定口座への振り込みをお願いします

※口座情報は問い合わせください

◆受付期間…5月31日(金)まで

◆問い合わせ先…たのまるプロジェクト 三浦咲奈

(☎080-6044-0162、✉tano

maru1226@gmail.com)

## 知 精神科医による面接相談

◆場所・日時

①宮古地区合同庁舎

4月11日(木) 午後1時30分～

②村保健センター

4月25日(木) 午後1時30分～

◆対象…精神科や心療内科を受診したことがない人

◆申込期限

①宮古地区合同庁舎

4月9日(火)

②村保健センター

4月23日(火)

◆申し込み・問い合わせ先…宮古保健所(☎0193-64-2218)

## 知 HIV検査などを無料で実施

◆日時…4月16日(火)

午後4時～6時

◆場所…宮古保健所（宮古市五月町1-20）

◆検査項目

①HIV抗体検査

②肝炎ウイルス検査

③性器クラミジア感染症病原体検査

④梅毒検査

⑤HTLV-1抗体検査

※⑥のみ実名で予約

◆その他…前日までに要予約

◆申し込み・問い合わせ先…宮古保健所(☎0193-64-2218)

## 知 骨髄バンクドナー登録に協力を

骨髄バンクは、治療が難しい血液疾患の患者さんの命をつなぐボランティアです。

◆日時…4月16日(火)

午後1時～2時

◆場所…宮古保健所

◆その他…前日までに要予約

◆申し込み・問い合わせ先…宮古保健所(☎0193-64-2218)

## 知 4月18日はヨイ歯の日

県保険医協会では、歯や口の中の健康に関する無料電話相談「ヨイ歯デーテレホン相談」を行います。

◆日時…4月18日(木)

午前10時～午後7時

※午後7時以降に歯科医師から相談者に電話で回答

◆相談料…無料

◆電話相談…県保険医協会ヨイ歯デーテレホン相談係

(☎019-651-7341)



## 夢はプロバスケットボール選手 学校では下級生の手本になる児童会長に

僕はバスケットボールの練習を頑張っています。バスケを始めたのは4年生の時。スラムダンクを読んで、バスケが好きになりました。好きな選手は、ゴールデンステイト・ウォリアーズのステフィン・カリー選手。将来はプロバスケットボール選手になって、正確なシュートや華麗なプレーでみんなを元気にしたいです。

4月から児童会長になります。最高学年として、下級生の手本になるような学校生活を送りたいと思います。



**富士 幸太君**  
はたけやま・こうた 田野畑小6年

## 国保田野畑村診療所の医師が変わります

### 中村翔也先生が着任

4月1日、国保田野畑村診療所の新しい医師に中村翔也さん(32)が着任しました。中学の頃に医師を志したという中村先生は、久慈高を卒業後、岩手医科大学へ進学。宮城県の病院で研修を積み、3月まで済生会岩泉病院の内科医長として勤務していました。



国保田野畑村診療所に着任した中村翔也先生

中村先生は「村の皆さんが健康の意識を持って暮らせるように、介護や福祉などの側面から」

近江三喜男先生が退任  
平成29年1月1日から7年以上にわたり、国保田野畑村診療所に勤務し、村民の健康を守っていた近江三喜男先生(76)が3月31日、退任しました。退任に当たり近江先生は「村の皆さんには、津波でんこの意識を持って生活してほしい。中村先生には、医療と介護、地域との連携を取りながら体に気を付けて長く働き続けてほしい」とエールを送りました。

### 4〜5月の診療

中村先生は、間もなく第二子が誕生するため、4月12日から5月6日まで休暇予定です。この間、近江先生が診療を行う予定です。

◆問い合わせ先：国保田野畑村診療所 (☎33-3101)

## 令和5年度「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

村づくりへの温かいご支援、応援ありがとうございます。

令和5年4月1日～令和6年3月20日

田野畑むらづくり基金寄付額		14,259,600円
内訳	むらづくり基金寄付額	3,017,600円 16件(村内3件、県内3件、県外10件)
	返礼品あり むらづくり基金寄付額	11,242,000円 656件(県内43件、県外613件)

返礼品ありむらづくり基金は、ふるさと納税制度を活用しています。「田野畑むらづくり基金」の申し込みは、村ホームページをご覧ください。  
◆問い合わせ先…企画観光課特定政策推進室 (☎34-2111)

## 役立ちカレンダー

期間：4月1日(月)～4月30日(火)

月日	行事	場所	時間	問い合わせ先
5日(金)	田野畑中入学式	田野畑中	13:00～	田野畑中学校 (☎34-2301)
8日(月)	田野畑小入学式	田野畑小	10:00～	田野畑小学校 (☎34-2050)
26日(金)	健康相談	北山地区総合センター	10:00～11:00	保健センター
30日(火)	固定資産税1期 納期限			税務会計課

村役場(代表) ☎34-2111 / 税務会計課 ☎34-2112 / 地域整備課 ☎34-2113 / 住民生活課 ☎34-2114  
教育委員会 ☎34-2226 / 内科診療所 ☎33-3101 / 歯科診療所 ☎33-3100 / 保健センター ☎33-3102

## 三陸鉄道開業40周年

三陸鉄道は4月1日、開業40周年を迎えました。昭和59年の開業から今日まで、通勤・通学・通院・買い物など、多くの人たちに愛され、私たちの生活に欠かせない存在である三陸鉄道。平成23年の東日本大震災や令和元年の台風19号で大きな被害を受け、運休を余儀なくされるなど、多くの困難を乗り越えてきました。

三陸鉄道は4月から令和7年3月まで、開業40周年を記念したさまざまなイベントを予定しています。詳しくは、三陸鉄道ホームページを確認してください。

◆問い合わせ先：三陸鉄道 (☎0193-621890)

### 4月のイベント情報

月日	内容	場所
通年 (4月～)	記念切符販売	盛駅、釜石駅、宮古駅、久慈駅
	巡回写真展	県内12カ所
	40歳無料乗車キャンペーン	盛駅、釜石駅、宮古駅、久慈駅
4月1日(月)	40周年記念列車運行	全線
13日(土)	記念式典・講演会	イーストピアみやこ

## 広報クイズ

正解者の中から抽選で3名様に、タノくんキーホルダーが当たります。



◆応募方法…はがきに問題の答え、住所、氏名を書いて、村役場企画観光課にお送りください。当選者の発表に氏名の掲載を希望しない人は、氏名と一緒にペンネームやインシヤルなどを書いてください。

◆締め切り…4月15日(月)

Q 田野畑中の卒業生は何人？

- A) 32人
- B) 33人
- C) 34人

■前号(3月号)の正解 Q→C

■先月当選者  
小寺山 トク子さん (神奈川県)  
小林 春香さん (埼玉県)  
ペンネーム ピタゴラスさん

## おめでとう おくやみ

[令和6年2月届け出分] (敬称略)

- 安らかに ～お悔やみ～
- |             |    |
|-------------|----|
| 金子 マサ (96)  | 田代 |
| 山根 ノリ子 (87) | 羅賀 |
| 奥地 良雄 (89)  | 千丈 |
| 佐々木 翔多 (34) | 切牛 |
| 穂高 豊年 (96)  | 切牛 |
| 佐々木 正行 (80) | 菅窪 |

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のときに戸籍係の窓口に出してください





## わが家の アイドル



佐藤 依南<sup>えな</sup>ちゃん (1歳5カ月)  
優也さん、沙希さん=真木沢=

### お母さんからのひとこと

アンパンマンとじいじが大好き。最近、冷たい手でパパのおなかを触ることにハマっています。

おっとりしているように見えて、実は好奇心旺盛で活発。いろいろなことに挑戦して、自分らしく成長してね。

## わが家のアイドル掲載募集中

成長の記念に、お子さんの写真を掲載しませんか。対象は村内に住所がある1歳ぐらいから小学校入学前までのお子さん。かわいい笑顔で、村の皆さんに元気を届けてください。きょうだいそろっての掲載も受け付けています。

掲載を希望する人は、村役場総務課広報担当(☎34-2111)まで連絡をお願いします。後日、撮影に伺います。希望者が多い場合は、初掲載の子どもを優先します。



## 編集ごぼれ話

▼3月は旅立ちの季節です。卒業、卒園を迎えた皆さん、おめでとうございます。▼3月13日に行われた田野畑中卒業式。カメラ越しに見る卒業生の姿は堂々と、そして少し大人びて見えました。私が広報担当になったのは皆さんが2年生の時。これまで、体育祭や中総体など、さまざまな場面で皆さんの頑張る姿や笑顔を見てきました。卒業証書を受け取る姿を見ているだけで涙が出そうでしたが、ふとこれが最後かと思うと急にさみしさがあふれました。でも、これが別れではないはず。新しい道に進んでも自分らしく、光の照らす明日へ向かって突き進んでください。そしてまたいつか、取材へのご協力よろしくお願いします。

▼3月14日、田野畑小6年担任の長門哲汰先生から「明日、6年生の教室に来てくれませんか？」との電話。教室に入ると、6年生の皆さんから「ありがとっ」の言葉と手紙をもらいました。感謝を伝えなければならぬのは私の方なのに…。皆さんの思いがとてもしれしく、胸が熱くなりました。本当にありがとうございます。▼さて、4月から総務課に異動し、広報担当3年目がスタート。これからも広報たのはたを通じて皆さんの笑顔や頑張る姿をお届けします。皆さん、引き続き取材へのご協力よろしくお願いします。

(総務課 佐々木 祐介)

